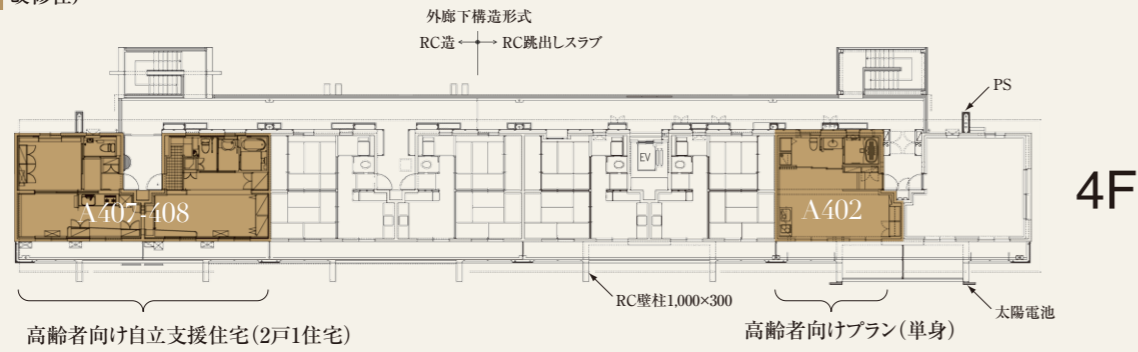


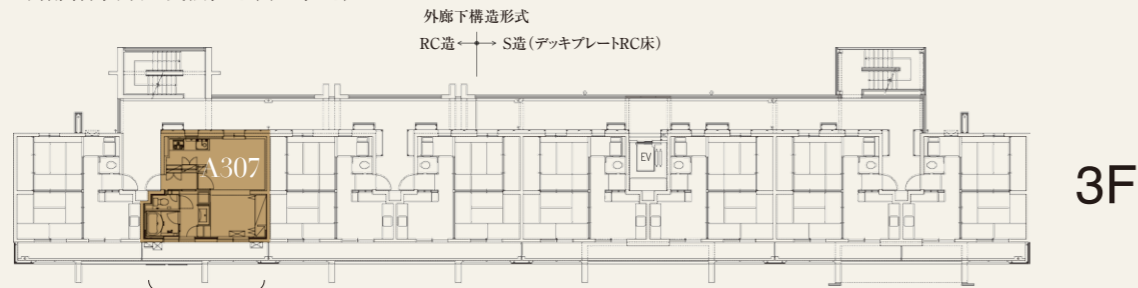
A棟／平面図

0 2 4m

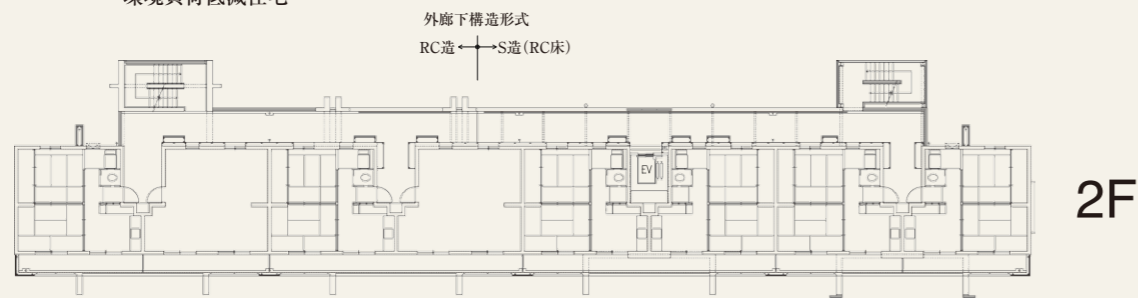
改修住戸



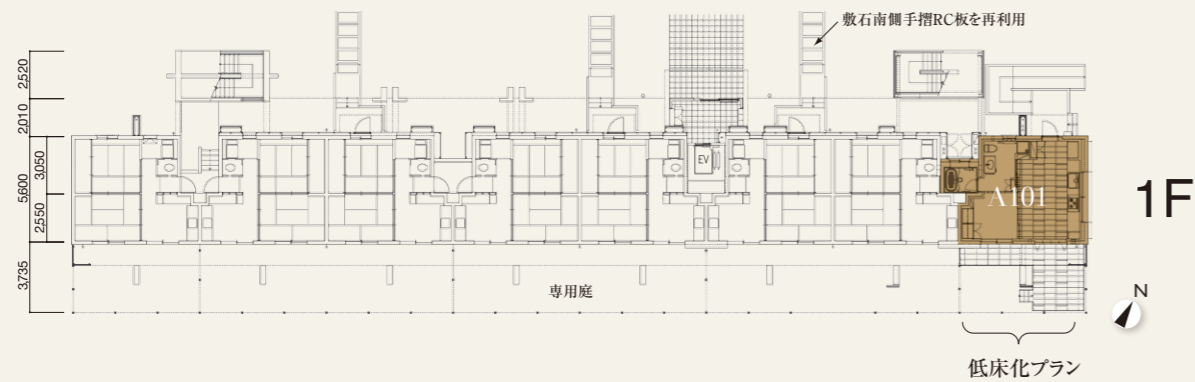
4F



3F



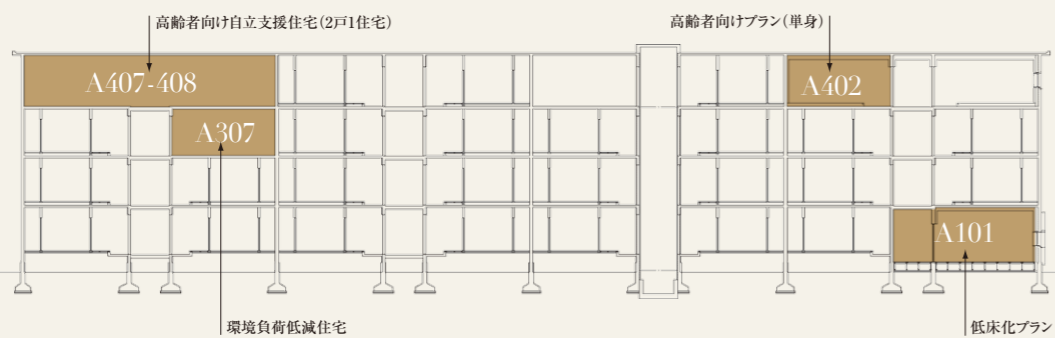
2F



1F

A棟／断面図

0 2 4m



おもな住戸計画1

Room **A101**

低床化プラン

写真上／玄関から見る。1階の既存木軸床組を撤去。北側専用玄関からのアプローチとし、40cmの低床化を実現。



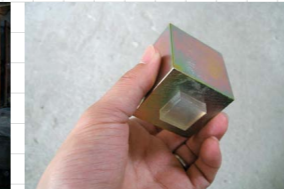
写真左／洗面所。写真中／A棟北側外観。1階101号室の赤い玄関扉脇の黒い帯は、外部に集約された配管カバーの縦格子。

写真右／南面には、躯体改変による構造のバランス変化を補うために板状の柱を新設して構造を補強。

低床化

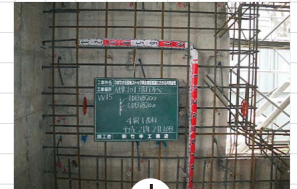


おもりを使った高遮音天井



低床化(写真左2点) = 内装解体では耐力壁である袖壁も撤去したので、南側外壁部分を増し打ちし、構造を補強した。高遮音天井(写真中2点) = 天井仕上げのボード裏に一辺5cm、重さ約1kgのおもりを約1個/㎡の間隔で設置。上部からの重量衝撃音により天井ボードが揺れると粘弾性体で支えられたおもりが振動して揺れを吸収し音を抑制する(竹中工務店特許出願済)。妻壁開口新設(写真右2点) = 構造壁の妻壁に開口部を新設。内側にコンクリートを増し打ちしている。

妻壁開口新設



A棟

「ひばりが丘団地ストック再生実証試験」
A棟はエレベータを設置し、住棟全体をバリアフリー化することをテーマとしている。